

＜用語説明＞

【五十音順】

●クラウドサービス

インターネット経由でソフトウェアなどの機能を利用できるサービスのことです。インターネットにアクセスできる環境であれば、時間や場所を問わずサービスを扱うことができます。

一般的に事業者側が環境構築や保守、運用を行うため、オンプレミス（サーバー等を自組織内の設備で運用する方式）と比較し、利用者側はサーバーの管理の手間やコストをかけずにサービスだけを利用することができます。一方で、事業者側のルールに合わせてサービスを利用する必要があります。

●クラウドファンディング

新規・成長企業等と資金提供者をインターネット経由で結び付け、多数の資金提供者（＝crowd〔群衆〕）から少額ずつ資金を集める仕組みのことです。

●タブレット端末

液晶ディスプレイなどの表示部分にタッチパネルを使用し、ほとんどの操作を指で行う、平板状の携帯情報端末を指します。機器の形状が石板のように平板をしていることもあり、タブレットという名前が定着しています。

●デジタル化

業務に IT 等のデジタル技術を導入し、情報の利活用や業務の効率化、サービス利用者の利便性の向上を図ることを指します。

●デジタル・ガバメント（電子政府）

国や地方自治体が情報通信技術を活用し、効率的で効果的な公共サービスの提供を目指す取組を指します。

●電子化

手作業や紙ベースで行っていたアナログ作業をパソコンで扱うことができるデータに変換することです。

●ネーミングライツ

市と民間団体等との契約により、市の施設等に愛称等を付与させる代わりに、当該団体からその対価等を得て、施設の持続可能な運営に資する方法です。

●ビッグデータ

ビッグデータは、情報技術の進歩により、従来記録や管理、解析等が困難であった様々なデータの集合体を指します。この情報は自治体業務の中でも発生するものでもあります。

●ファシリティマネジメント

企業・団体等が組織活動のために、施設とその環境を総合的に企画、管理、活用する経営活動のことです。ファシリティ（土地、建物、構築物、設備等）すべてを経営にとって最適な状態（コスト最小、効果最大）で保有し、賃借し、使用し、運営し、維持するための総合的な経営活動のことです。

●ベンダーロックイン

特定の事業者のサービスやシステムに依存し、他の事業者のシステム等に入れ替えることが困難な状態を指します。

●マイナンバーカード

住民の皆様からの申請により交付されるプラスチック製のカードです。カードのおもて面には御本人の顔写真と氏名、住所、生年月日、性別が記載されていますので、本人確認のための身分証明書として利用できます。また、カードの裏面にはマイナンバーが記載されていますので、税・社会保障・災害対策の法令で定められた手続きを行う際の番号確認に利用できます。

●マイナポータル

政府が運営するオンラインサービスです。行政機関が保有する自分の特定個人情報を確認できるほか、行政機関同士が自分の特定個人情報をどのように受け渡ししたか、その履歴を確認することができます。

また、「ぴったりサービス」では、子育てに関するサービスの検索やオンライン申請（電子申請）を行うことができます。

●マネジメントサイクル

効果的な管理を行うための段階、管理サイクルのことを指します。典型的な例としては、PDCA サイクル（計画・実行・検証・改善）などがあります。

●モバイル端末

モバイルとは、「移動式の」や「可動性の」といった意味の表現です。モバイル端末とは、小型・軽量化されたコンピュータ等を指します。

【アルファベット順】

●A I（人工知能）

人間にしかできなかったような高度に知的な作業や判断について、コンピュータを中心とする人工的なシステムにより行えるようにしたものです。

●D X

デジタル・トランスフォーメーションの略称で、デジタル(Digital)と変革を意味するトランスフォーメーション(Transformation)により作られた造語です。「Transformation」の「Trans」を「X」と略することから「D X」の略称を用いています。

●P P P（パブリックプライベートパートナーシップ）

官と民がパートナーを組んで事業を行うことです。

●R P A（ロボティックプロセスオートメーション）

人間がコンピュータを操作して行う作業を、ソフトウェアによる自動的な操作によって代替することです。